



3周年記念のつどい(10/4)に向け 憲法9条への賛同の輪を大きく広げましょう!

いよいよ暑い夏です。

国際的な原油や穀物の高騰の影響を受け、物価がどんどん上がり、生活が大変になってきています。7/9 閉幕の北海道洞爺湖サミットでも、物価高騰への実効性のある措置を打ち出せませんでした。最大の焦点であった地球温暖化対策についても、主要8ヶ国(G8)首脳は、温室効果ガスの排出削減中期目標や具体的な数字目標を示さず、2050年までに世界全体で50%削減を採択することを求めました。しかし、中国やインドなどに「先進国の歴史的責任」を指摘され、主要排出国(16ヶ国)では合意はされませんでした。

地球温暖化問題は、今、緊急の課題です。先進国の責任放棄は許されません。すぐにでも、温室効果ガスを大量に放出しているすべての軍事行動をやめるべきです。

さて、「憲法9条の会 つくば」は10月に3周年を迎えます。「記念のつどい」を10月4日(土)午後、つくば国際会議場で開催します。記念講演は「憲法9条を変える日本、変えない日本」と題して、筑波大学出身の松本侑子さん(作家、翻訳家)です。文化行事は「飛んでイスタンブール」で有名な歌手の庄野真代さん(国境なき楽団代表)に決まりました。知人、友人などをお誘い合わせのうえ、多くの方の参加をお待ちしています。

また、つどいに向け、賛同人(つくば市在住者)は600名、署名数は6000筆以上を目標に取り組みたいと思います(現在到達数は下記記載のとおり)。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

2004年の通常国会以降「憲法改悪反対」の国会請願署名総数が、実に1061万人を超えたそうです。これは、「憲法9条を守る!」という国民の世論と運動の高まりの表れと言えるでしょう。一方、政府・与党(自民党、公明党)は、海外派兵恒久法を来年の通常国会に向け提出する動きを強めています。この法制は、いつでも自衛隊の海外派遣を可能にします。海外派遣された自衛隊が、これまで政府の憲法解釈でも禁じられてきた武力行使に踏む込む危険性があります。



私たちは、この「憲法9条違反」の法案を許さないよう、一步一步「憲法9条を守れ」の運動を進めていきましょう。



◆賛同人 639名(つくば市内 490名)

7月14日現在 ♪♪♪♪

◆9条署名 7月7日までの累計

5530筆

(6月1日定例行動: 68筆

7月6日定例行動: 95筆)

行 動 予 定

8月3日(日)・9月7日(日) 定例街頭署名行動

11時半~ 中央公園アルス図書館前集合

7月29日(火)・8月11日(月) 19時~

「3周年記念のつどい」実行委員会 並木公民館

8月31日(日) 「3周年記念のつどい」イベント

「ヒロシマ・ナガサキ」上映会 13時半~ 春日公民館

会の活動から

◎「戦争を絶対しない、と決めた日本」を実感——6. 1 定例街頭署名

晴天に恵まれ、荒牧さんのライブがあり、ギターに合わせて歌を口ずさみながら、「9条」を訴えました。“音楽の効果”ってすごいですね。年配者も子連れも、若者もそして外国の方も立ち止まってくれます。

中国から来たというカップルは荒牧さんと並んで写真を撮り、うれしそうでした。男性はチベットから、女性は中国から来たそうです。女性は、日本が中国に侵略したことを知っているが、日本や日本人を憎いと思っていない、それはたぶん「戦争を絶対しない」と日本が決めたことを知ったからだと思う、と話してくれました。今、それを決めた「憲法9条」を変えようとしていると、私が話すと驚き、それは許せない、と署名してくれました。他にも韓国からの方に署名をいただきました。私以外にも、外国の方から署名をいただいた人があったようです。さすが、“つくば”ならではのですね。(せい)



◎暮らしと平和を守るため——7. 6 定例街頭署名

署名活動は、インパクトの大きい地道な活動です。「9条を守れ」の対話ができれば楽しい活動ともなるのですが、それがなかなか大変なことで、ただ忍耐あるのみです。幸い今回の署名活動では、隣で開催されていた「食の安全を考えるイベント」に参加されていた方々から署名をいただくことができました。諸物価高騰のおり、暮らしと平和を守ることがいよいよ大切になってきたことを感じた次第です。(原田)

賛同人ひとこと

※5月4日「9条世界会議」は大成功でしたね。“九条の会”の活動がもっと世界的なものになり、ノベル平和賞を受賞することになればいいなあ、と思います。対人地雷廃絶運動の団体も受賞しましたよね。可能性はないでしょうか。(荒牧)

※「憲法9条を守る」ことは、日本のみならず、世界においても、今一番大切なことに思います。「9条の会」のような会があることが有り難いです。(Y・K)

※一九四七年、憲法施行。私の名前の由来もここから。将来も大事に守っていきたい。(M・憲一)

※憲法制定以来の9条信奉者です。「9条の会」へもいつか賛同をと思いつつながら、自らは行動をせず日にちが経っていました。(五藤)



「荃崎9条の会」学習会

8月24日(日)午後13時半~16時

荃崎公民館

「イラク派兵違憲判決の意義」

報告：緒方章宏氏 (日本体育大学)

「会計検査院報告に見る税金の無駄遣い」

報告：永田尚大氏

(元会計検査院検査官)

「荃崎9条の会」も発足して2年半。3月に総会と「2周年記念講演会：百里基地闘争と平和憲法」を行い、署名活動の推進と会員の拡大と学習会開催を決めました。なかなか一步を踏み出せず、動きが鈍くなっていますが、8月に学習会を行います。安倍内閣が崩壊したとはいえ、改憲派も立ち直りを図り策動中、我が方も一段と頑張らねば、と思う昨今です。(野口)

戦争を想う、平和を想う



飛べなかった「海軍甲種飛行予科練習生」——かすれゆく記憶をたどりながら
米谷 宏 (つくば市洞下)

＜ペンを銃に変えて＞ 希望をふくらませて地方の工芸学校に進学したが、勉強らしい勉強をしたのは、2学年までだったろうか。3学年になると配属将校・下士官が来て、軍事教練の時間が多くなった。戦況が悪化する中、のうのうと学校で勉強なんかしている時ではない、今こそ学徒はこの国を救うため、“ペンを銃に変えよう”といった当時の風潮が「学校」を飲み込んでいった。天皇陛下のため、国のため、東洋平和のため、鬼畜米英を倒すため・・・、死んで靖国神社でまた会おう、を合言葉に、私の同級生のほとんどは志願して全国各地にある軍隊基地に散っていった。私は、昭和19年の初秋の頃、海軍甲種飛行予科練習生として横須賀海軍通信学校に入隊した。

＜通信学校で＞ 学生服から軍服に着替えて、上官の発破の一言「貴様らは、今から娑婆と縁を切った。俺が貴様らに軍人精神を徹底的に叩き込んでやる！！」・・・と、翌日から言葉通りの厳しい日課が始まった。日課は、班(15-20名)と分隊(約6班)編成で、物理、数学、航海、通信、体育など海軍軍人としての必要な知識、技術の習得や基礎体力、軍人精神の鍛練にあてられていた。カッター(大きな手漕ぎボート)の艦漕ぎ、兵舎の床を四つん這いでやるモップかけ、起床と就寝のつど繰り返すハンモック訓練、集団駈足などは、私の体力、精神力の限界を超えているということを気にしながらの日々だった。「上官の“命令”は、天皇陛下の“命令”と思え」と言われるぐらい、軍隊においての上官の命令は絶対的なもの。規律違反、班や分隊間の競技などで成績が悪い

と、鉄拳制裁や檜材のバットで尻を一人では立っておれないほどのスイングで数回殴打された。上官の“命令”を反射的に行動するということを体で覚えさせられた。

昭和20年の始め頃、私達同期生の一人一人が分隊長室に呼ばれ、特別攻撃隊員(特攻隊員)への意志確認が行われ、同期生のおよそ300人が特攻隊員となった。その頃、「人間魚雷」のようなものに乗るといふ噂がまわりでささやかれていた。

＜特攻隊員として＞ 呉潜水学校、柳井潜水学校での「特殊訓練」を終え、横須賀基地に来たのが初夏の頃。ここで、「海龍」という自爆型の特殊潜航艇(人間魚雷、全長10数m、径1.3m、7-9ノット)が私達を待っていた。粗製乱造の「海龍」の練習中、事故が多く、何人かの尊い命が失われたと聞いている。出撃することなく敗戦をむかえた「海龍」は、配属地沖に自沈処分された。私達特攻隊員にも直ちに解隊が命じられ、私は、24時間程かけて故郷の家に帰った。

そして、今、＜平和への想い＞。

文芸九条—ホッとたいむ

- ・ 老鶯や 雨のまのまの もうけ鳴き
- ・ 十薬や すつと並んで 言いたげな
- ・ 雪の下 知られぬ哀れ 美しや

春先の鶯は素敵ですが、鳴きは、今頃の鶯の方が上手です。それを先達は何故か「老」鶯だなんて！十薬、別名どくだみです。

ユキノシタのちっぽけな白い花びらを拡大鏡で見たら、ルビーのような小さな斑紋がとても素敵でした。(和田)



※インフォメーション

原水爆禁止 2008 世界大会・科学者集会 8月1日

() 10 16 つくば ル ル

先 : Tel03-3812-1472 Fax03-3812-2363

の ル よ

シ ・ キ 2008 8月10日(日)

14:00 つくば ル ル

い 先 : 029-887-3226 (大)

輝け！憲法、守ろう！いのち 2008

日時：2008年10月4日（土）

開演 13:30 開場 12:30

会場：つくば国際会議場大ホール

第1部：「憲法9条の会つくば」の活動報告とこれから

第2部：記念講演：松本 侑子 さん（作家・翻訳家 / 日本ペンクラブ常務理事）

「憲法9条を変える日本、変えない日本」

第3部 歌とトーク：庄野 真代 さん（歌手 / 「国境なき楽団」代表）

「音楽にのせて・・・」

参加費：1000円（一般）、500円（学生・障害者手帳をお持ちの方）、中学生以下無料

「憲法9条の会つくば」

3周年記念のつどい

「憲法9条の会つくば 3周年記念のつどい」によせて

～ 松本侑子さんより ～

今の日本には、憲法9条を変える動き、変えずに守る動きの両方があり、国民を二分しています。改憲を求める人たちの理由は、「現憲法は占領軍に押しつけられたから変えるべきだ」、「9条は形骸化して現実とそぐわない」、「他国からの攻撃、テロを防ぐために軍隊が必要だ」などがあがっています。しかし、それらは本当でしょうか？ また憲法とは、国民にとってどんな法律でしょうか？ この講演では、こうした改憲論を1つ1つ、身近な言葉で、わかりやすく検証してみます。私たち日本とアジアの平和をめざしながら、憲法について、みなさんと一緒に考えてみましょう。

「3周年記念のつどい」

☆ プレイベント ☆

「ヒロシマ・ナガサキ」上映会

8月31日（土）13:30～

春日公民館 参加費：無料

上の で と 和
9条の など ついて し
う 定です

筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会講演会

「地球温暖化問題と平和」(5/25) に参加して

講師の和田武さん（元立命館大学教授）は、地球温暖化防止にとって、今、最も重要な課題は「戦争のない平和な持続可能社会の構築」であると強調しました。軍隊活動に使う燃料や兵器生産のエネルギー利用で排出される温暖化ガスは、世界総量の約1割（ブラウン、1991年）。イラク戦争のみでアメリカ軍は1日約5.7万キロリットルの燃料を消費し、日本の排出量の4.5%に相当するとか。

戦争は最大の環境汚染、環境破壊ですね。戦争放棄を明記した憲法9条を含め全条項を政治に活かすことは、人間社会にも地球環境にもやさしく「持続可能な日本・世界」をつくる確かな道だと改めて思いました。

温暖化対策に必要な費用は約5兆円といわれています。軍事費（年間5兆円）や茨城空港などのムダな公共事業を見直し、予算の使い道を切り替えれば、対応できます。

「洞爺湖サミット」も終わってみれば、温室効果ガス排出削減の中期目標さえ決められず、各国まかせ。最大排出国アメリカなどG8の責任があいまいです。日本の温暖化ガス総排出量の8割を占める産業界の削減も業界まかせ。政府はいつもアメリカと企業に弱いようですね。（山中たい子）